

II-3. 三郷市の取り組みの論点

【取り組みの特徴】

- 市街地の拡大、新たな交通基盤整備等による都市構造の変化に対し、既存のバス路線が十分に対応できていない状況があり、市民からコミュニティバス運行に対する高いニーズが存在。一方で、三郷市でのバス事業に対し新規参入意向を持つ事業者が存在。
- そこで、行政が地域住民と民間事業者のコーディネイター役を担い、地域のニーズを把握しながら路線設計やサービス水準の設定を行い、民間事業者を誘導。民間事業者によるコミュニティバス路線を多数新設している。
- 地域コミュニティバスは市民から高く評価されているほか、市民の外出頻度の増加や渋滞の緩和など具体的な効果が表れている。

【主な論点】

①コーディネイターとして市が民間バス事業者の誘導、調整を行い得た要因

… 民間事業者が参画を決断するに足る路線計画をどのように作成し、いかに民間事業者を誘導したか

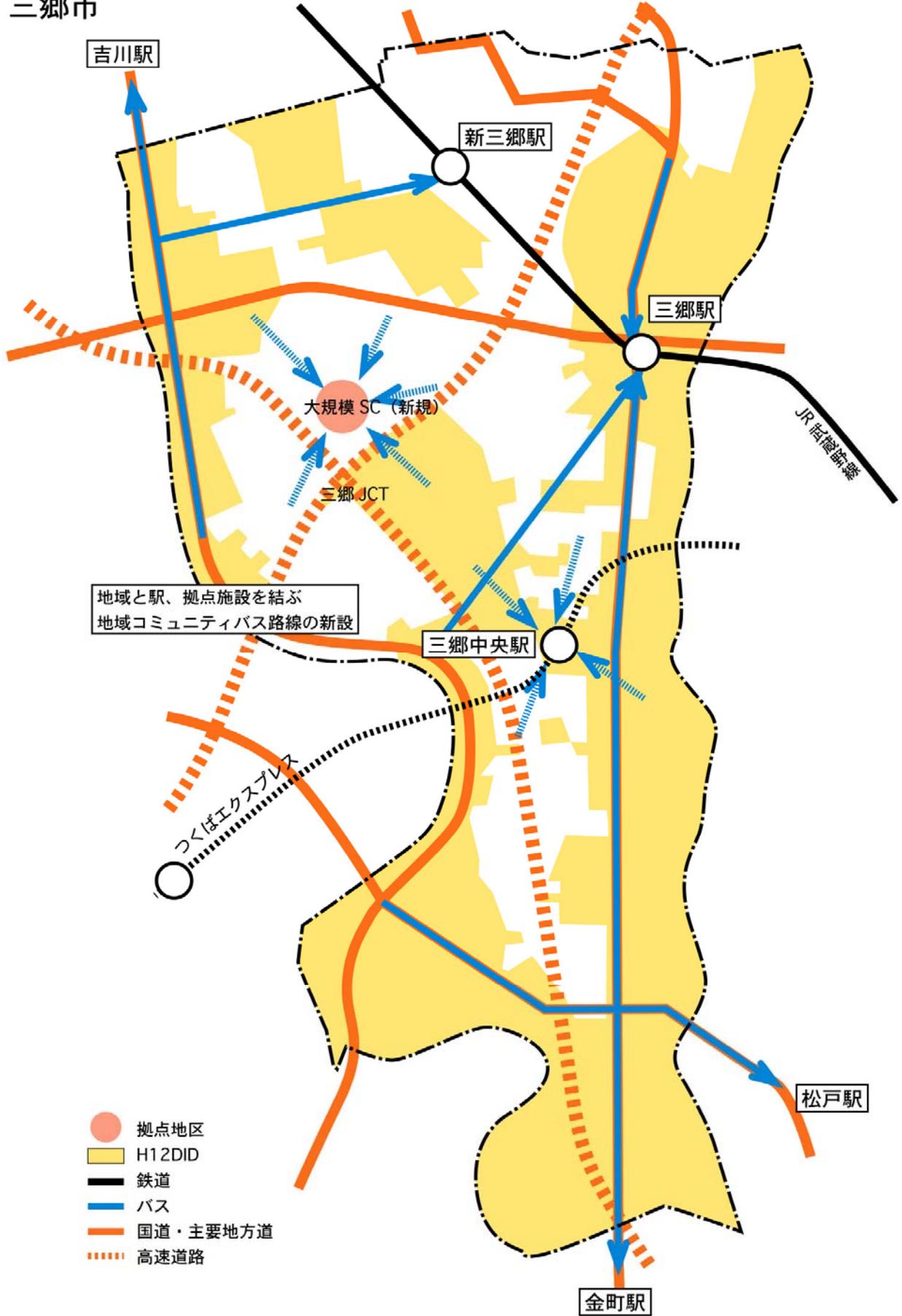
- ・市民ニーズの把握
- ・実際の市民ニーズをベースに採算性を考慮した路線計画及び運行方針の策定
- ・バス事業者の誘導・調整
- ・TDM実証実験による補助を活用した初動期のリスク軽減

②公共交通の充実（地域コミュニティバス運行）によって表れている効果

… どのような効果が表れているか、これをどのように評価するか

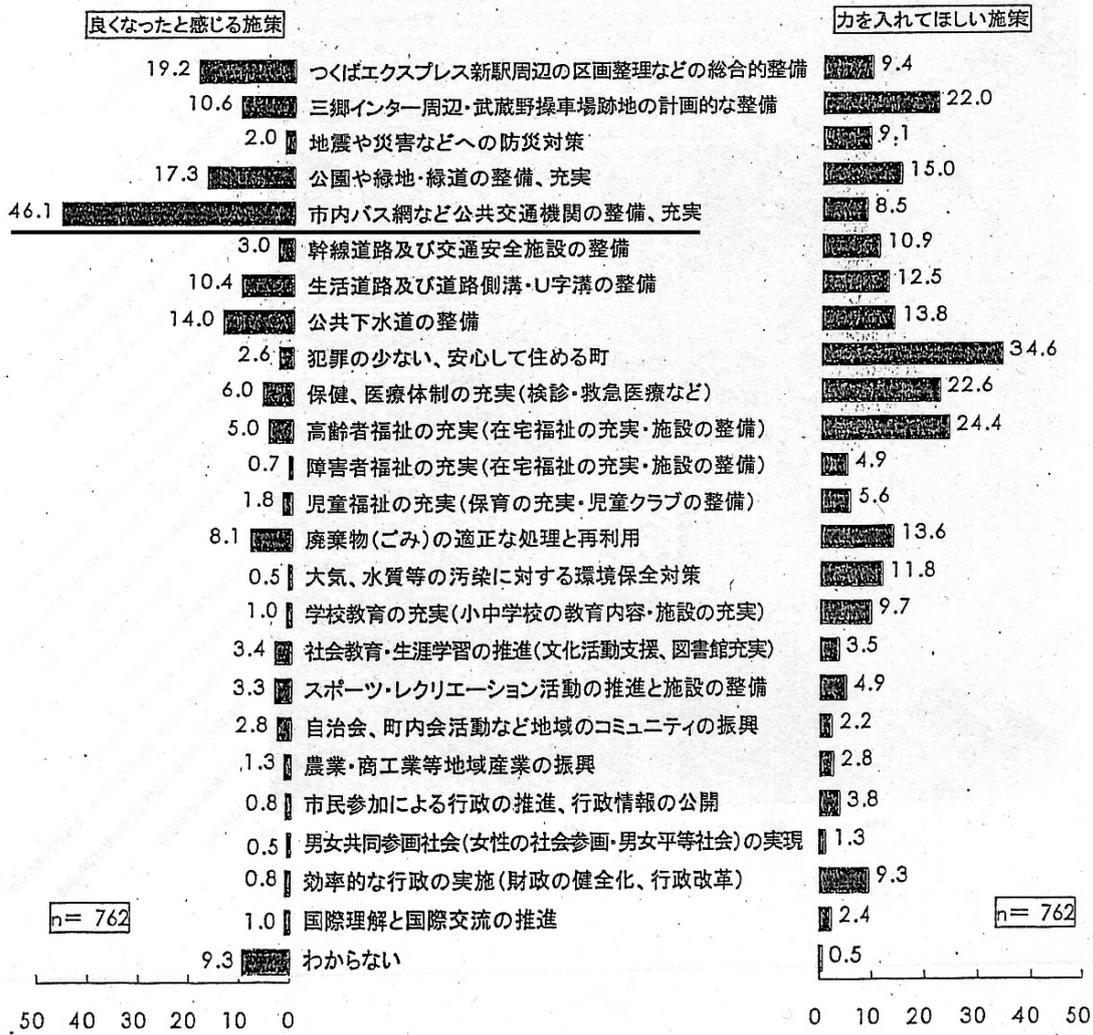
- ・バス利用者の増加、市民の外出頻度の増加
- ・鉄道駅におけるキス&ライドの減少（三郷駅 55%減）、駅周辺の渋滞緩和（ピーク時5割程度減）
- ・住宅地としての魅力、価値の上昇（他の地域より住宅の売れ行きが良好）

三郷市



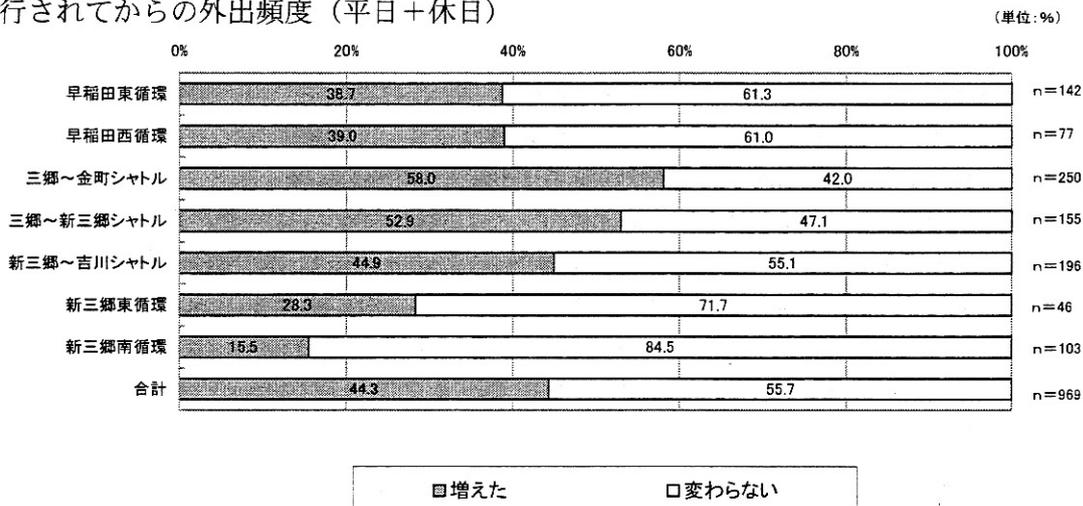
■実績・効果

①市民の評価（H14年度市民意識調査）



②外出頻度の増減（H16.2 バス利用者アンケート）

運行されてからの外出頻度（平日+休日）



③利用交通手段の変化（H16.2 バス利用者アンケート）

運行する前の主な利用交通手段（平日＋休日）

